

## 析報告書作成

- 中学校1年の国語・数学・英語の学力検査問題の予備テストの実施
- 中学校1年の社会・理科の学力検査問題の作成

## (5) 児童生徒の耐性に関する研究

これは、今日の子どもの耐性と自己中心性について、県内児童生徒の実態をとらえ、問題行動を生み出している周辺を探るとともに、その対応について考察を加え、教育現場の指導の実際に貢献することを目指して行う単年度の調査研究である。

- 紀要「児童生徒の耐性に関する研究」の刊行

## (6) 事例を通した教育相談の進め方に関する研究

昭和59年度から2か年計画で、このテーマを具体化した形で、反社会的行動をもつ児童生徒の心理的な指導援助のあり方を事例を通して研究するものである。

第1年次においては、文献による理論研究と実態調査などを中心に進め、紀要もしくは事例集の発刊は第2年次に行う予定である。

## Ⅲ 教育相談事業について

## 1. ねらい

幼児・児童生徒の諸問題について、学校または親からの相談に応じ、その望ましい解決のための援助をする。

## 2. 相談内容

- (1) 知能・学業……知能発達遅滞、学業不振、学習不適応など
- (2) 性格・行動……自閉症的、かん黙、登校拒否、非行、多動、暴力など
- (3) 身体・神経……夜尿症、神経症的、チック、車酔いなど
- (4) 進路・適性……進路、職業適性など
- (5) 教育一般……心理検査、しつけなど

## 3. 実施方法

- (1) 「来所相談」

これは、予約制によるもので、当教育センターに直接来所して行う。

## — 連絡先 —

福島県教育センター教育相談部  
電話 (0245) 53 - 3141  
内線 (25・27・28)

## (2) 「移動教育相談」

これは、遠隔地居住者のために実施するもので、昭和59年度の会場及び実施期日は下記の通りである。

- ・会津地区 会津若松市 (5月22日～5月24日)
- ・いわき地区 いわき市平 (5月29日～5月31日)
- ・県南地区 白河市 (6月26日～6月28日)
- ・相双地区 原町市 (7月3日～7月5日)

## (3) 「電話相談」

これは、直接来所できない場合、電話による相談に応じるものである。

## 4. 相談の対象

対象者は、幼児から高校生までの本人、親及び教員とする。

## Ⅳ 教育図書・資料の収集整備について

## 1. 教育図書・資料の収集整備

全国の教育センター・研究所・大学・研究団体・各学校の研究物の収集に努め、特に、教育課程の実施に伴う資料の整備を図る。

## 2. 教育図書・資料の貸し出し

教育図書・資料の貸し出し、文献・資料の利用相談、及び紹介、並びに資料などのコピーサービスを行う。

## 3. 教育センター「所報ふくしま」の発行

所報は、原則として年間5回発行する。教育センターにおける研修・研究、教育相談、受講者の研究報告、研究実践校などの成果を紹介する。

## 4. 資料件名目録の発行

全国の教育センター・研究所や研究団体、小・中・高等学校などの研究物を領域並びにテーマごとに分類・整理して各年ごとにまとめて刊行する。

(文責・経営研究部 菅野家作)